

令和 7 年 7 月 10 日

各 位

唐津農林事務所東松浦農業振興センター長

## 稲作情報第 2 号 (普通期水稻)

### 1. 気象概要 (アメダス: 唐津地点)

月	半旬	平均気温 (°C)		最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7
5	1	17.4	<b>16.5</b>	22.4	<b>22.9</b>	12.8	<b>11.0</b>	20.1	<b>24.0</b>	35.5	<b>46.2</b>
	2	18.1	<b>16.5</b>	23.1	<b>21.3</b>	13.6	<b>12.8</b>	24.4	<b>53.5</b>	35.0	<b>25.9</b>
	3	18.8	<b>18.5</b>	23.7	<b>24.8</b>	14.3	<b>13.1</b>	26.1	<b>0.0</b>	35.1	<b>39.7</b>
	4	19.4	<b>22.1</b>	24.3	<b>26.3</b>	15.0	<b>18.3</b>	22.2	<b>35.0</b>	35.5	<b>21.4</b>
	5	19.9	<b>18.2</b>	24.8	<b>21.5</b>	15.7	<b>16.2</b>	17.8	<b>133.0</b>	34.0	<b>8.0</b>
	6	20.4	<b>17.7</b>	25.0	<b>22.9</b>	16.5	<b>13.6</b>	18.5	<b>0.0</b>	37.1	<b>41.4</b>
6	1	20.9	<b>20.0</b>	25.2	<b>25.5</b>	17.3	<b>15.4</b>	18.2	<b>19.0</b>	27.3	<b>41.2</b>
	2	21.4	<b>21.5</b>	25.4	<b>25.6</b>	18.2	<b>18.4</b>	27.2	<b>104.5</b>	24.5	<b>7.1</b>
	3	21.9	<b>22.8</b>	25.7	<b>25.8</b>	19.0	<b>20.2</b>	40.5	<b>64.5</b>	22.3	<b>1.3</b>
	4	22.4	<b>26.3</b>	26.1	<b>31.7</b>	19.6	<b>21.6</b>	54.5	<b>4.5</b>	20.6	<b>41.4</b>
	5	23.0	<b>25.2</b>	26.6	<b>28.1</b>	20.4	<b>23.0</b>	65.1	<b>113.5</b>	17.8	<b>1.1</b>
	6	23.9	<b>26.4</b>	27.3	<b>32.5</b>	21.3	<b>22.3</b>	73.6	<b>0.0</b>	14.8	<b>58.2</b>
7	1	24.7	<b>28.4</b>	28.0	<b>34.3</b>	22.2	<b>24.4</b>	87.3	<b>0.0</b>	15.2	<b>59.3</b>

7月1半旬の平均気温は平年より 4℃程度高く、最高気温にいたっては平年より 6℃程度高く推移している。6月27日の梅雨明け以降は降雨のない日が続き、日照時間は平年の 4 倍となっている。

### 2. 生育状況 (調査日: 7月 8 日)

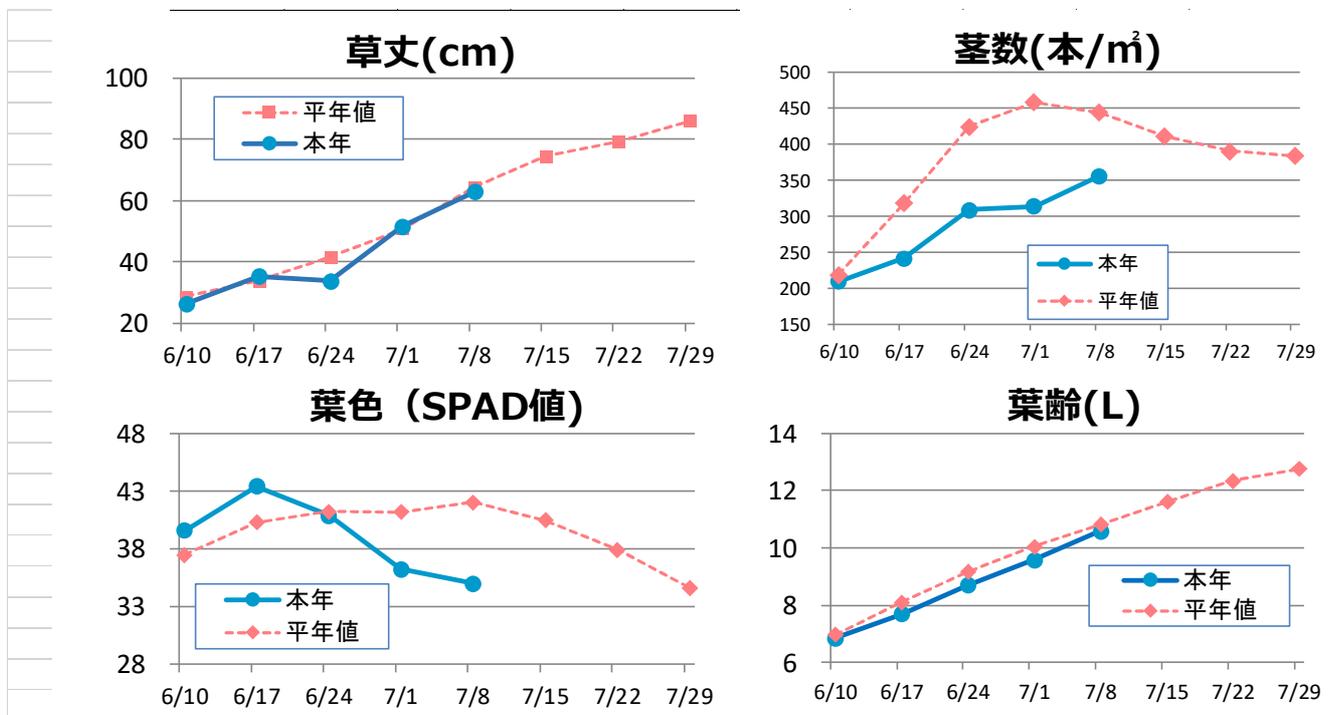
項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ 唐津市厳木 町天川 5/10 移植 標高 650m	本年値	62.8	356	10.6	35.0	平年と比べて ・草丈はやや低い ・茎数は少ない ・出葉は平年並み ・葉色は薄い
	平年値	64.5	444	10.8	42.0	
	平年比	97	80	-0.2	-7.0	

項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 唐津市相知 町伊岐佐 6/13移植 標高70m	本年値	39.0	367	8.1	35.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草丈は平年よりやや低い</li> <li>・茎数は多い</li> <li>・出葉は平年よりやや早い</li> <li>・葉色は平年より薄い</li> </ul>
	平年値	40.6	216	7.8	39.5	
	平年比	96	170	0.3	-4.0	
項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 Cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主幹 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
さがびより 唐津市相知 町相知 6/21移植	本年値	33.5	393	8.4	41.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草丈は平年よりやや低い</li> <li>・茎数は平年より多い</li> <li>・出葉は平年並み</li> <li>・葉色は平年よりやや薄い</li> </ul>
	平年値	34.5	246	8.5	43.1	
	平年比	97	160	-0.1	-1.9	

### (1) 山間早植え

作況ほの「コシヒカリ」は、5月10日に移植された。生育期間前半が低温で経過したため生育量が不足しており、茎数が少なく、葉色も薄い。作況ほでは7月8日に幼穂長4mmを確認している。これまでのところいもち病やウンカなどの病害虫は発生していない。

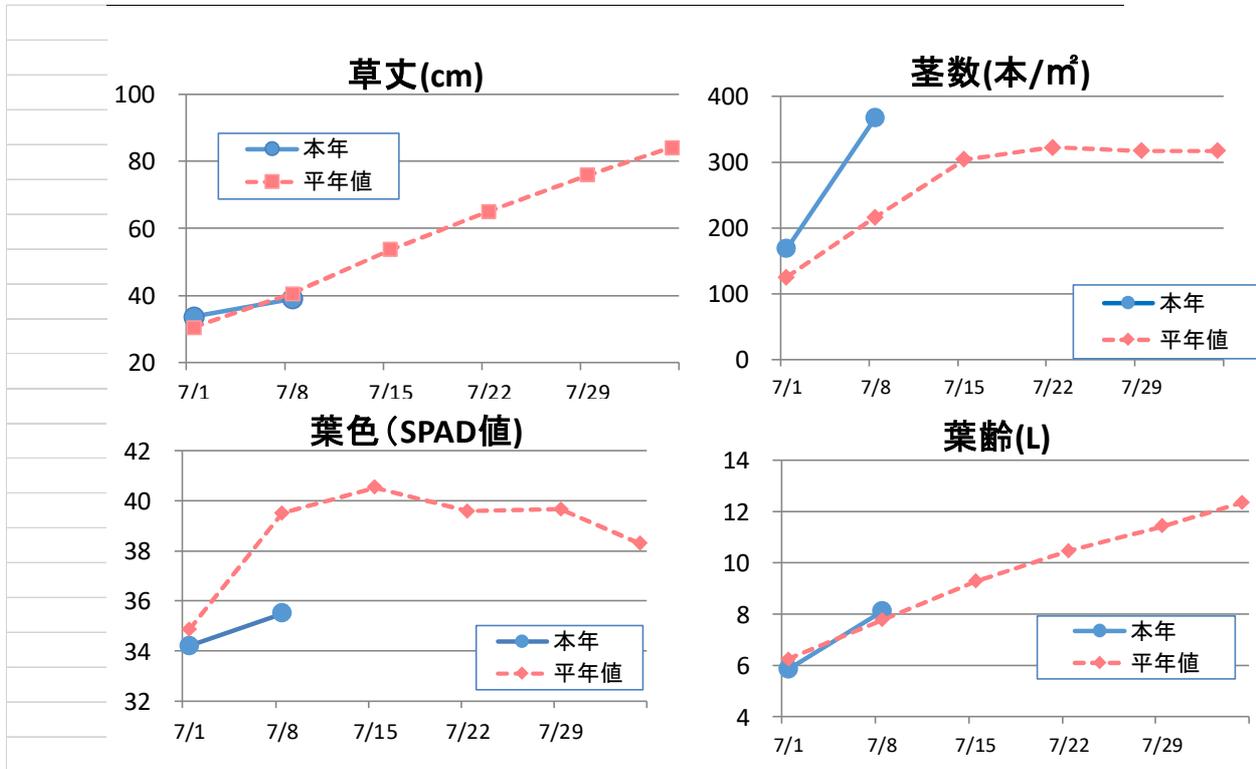
#### ◎コシヒカリ作況圃の生育グラフ(厳木町天川)



## (2) 普通期水稻

夢しずく、佐賀びよりも移植後は降雨、曇天が続き生育は停滞したが、梅雨明けの好天により生育は回復して、茎数が一気に増加した。生育期前半の生育停滞で葉色は薄いが葉齢は平年並みである。また、スクミリンゴガイによる食害や、除草剤の田植え同時施用での薬害も見られる。

### ◎夢しずく作況圖の生育グラフ(相知町伊岐佐)



## 3. 今後の管理

### (1) 早期・山間早植え

#### ①栽培管理

- ・コシヒカリの移植時期は4月末～5月末と幅広く、現在の生育ステージは最高分けつ期～幼穂形成期となるため、生育ステージに応じた管理を行う。
- ・中干し後、軽く足跡がつく程度に固まった圃場では間断灌水を行う。幼穂形成期から穂揃期は浅水管理する。
- ・5月以降に移植された圃場では穂肥の時期となるので、次ページの表に基づいて穂肥診断を行い穂肥を施用する。
- ・なお、特栽コシヒカリでナタネペレットを施用する場合は窒素肥効の発現に時間がかかるので幼穂長が1～2mm確認できた段階で穂肥診断を行い穂肥を施用する
- ・今年は高温、多日照が予測されている、登熟期間の栄養不足を防ぐためにも穂肥診断に基づき可能な圃場では穂肥を施用する。

《表1 コシヒカリ(一般栽培)の穂肥診断基準》

	葉色		施用時期		穂肥施用量 窒素成分 kg/10a
	群落	葉緑素計	出穂前	幼穂長	
生育不足	2.5以下	28>	25~23日	1~2mm	2.0
標準	2.5-3.0	31	18~16	1.5~2.5cm	2.0
濃い	3.0-3.5	34	15	2.5cm	1.0
過剰	3.5以上	35<		施用しない	

※第3葉身長(出穂前 22~18日ごろの最上展開葉)が42cm以上、または第5節間長が3cm以上の場合、倒伏が懸念されるので穂肥は施用しない。

《表2 コシヒカリ(特別栽培)の穂肥診断基準》

	群落葉色	穂肥時期		穂肥施肥量 10a当たり
		出穂前	幼穂長	
なたねペレット	3.5以下	25~23日	1~2mm	20kg
	3.5より濃い	—	—	施用しない

※施用資材・量等は、特裁の有無・地域により異なるので、地域の暦参照

## ②病虫害・雑草管理

- ・「ホタルイ、オモダカ、ノビエ類」の後発生が多い圃場では、中後期除草剤の施用が遅れないようににする。
- ・「いもち病」の病斑が見られる場合は、速やかに防除を行う。
- ・特別栽培表示制度を申請した産地では、農薬成分カウント数に注意する。
- ・今年にはトビイロウンカの飛来は少ないが、今後の発生状況に注意し、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。防除を行う場合には湛水をするとともに、株元まで薬剤が十分にかかるように散布する。

## (2) 普通期水稻

### ①栽培管理

- ・6月上旬に移植された「夢しずく」は茎数の確保が進んで有効分けつ決定期から最高分けつ期となるので中干しを実施する。

有効茎数 20本/株程度が確保された圃場では中干しに入る。(草丈目安概ね 50cm)

### 【中干しの目的】

- ① 無効茎の発生防止や下位節間の伸張防止
- ② 窒素制限による生育量の適正化
- ③ 有害物質の除去及び土壌酸化による根の健全化
- ④ 地耐力を高め倒伏を防ぐ

- ・6月中旬以降に移植された圃場では引き続き浅水管理を行い分けつ茎の発生促進と茎の充実を図る。
- ・今年には高温で水温が高くなり高温・ガス障害が発生した圃場が見受けられる。いったん落水し新鮮な水と入れ替えて可能な限りかけ流しとして生育回復を図る。

・スクミリンゴガイ対策のために落水している圃場では田面が露出してひび割れが生じている圃場もある。このような圃場では適宜通水を行い、茎が硬化すれば浅水管理に移行する。

## ②病害虫・雑草管理

- ・「ホタルイ、ノビエ類」の後発生が多い圃場では、中後期除草剤の施用が遅れないようにする。
- ・「いもち病」の病斑が見られる場合は、速やかに防除を行う。
- ・特別栽培表示制度を申請した産地では、農薬成分カウント数に注意する。
- ・今年にはトビイロウンカの飛来は少ないが、今後の発生状況に注意し、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。防除を行う場合には湛水をするとともに、株元まで薬剤が十分にかかるように散布する。

# 令和7年産 稲作期間気象図

アメダス観測値 (唐津)

東松浦農業振興センター

